

※危険又はその可能性がある地下壕とは、次の①、②のいずれかに該当する場合として
 います。具体的には下表の壕の安全性に関する調査項目の赤表示箇所
 に該当するものとして回答があった数を集計しています。

- ① 物的危険度(壕の上部に対する危険度) A~C
 または
 ② 人的危険度(壕内の人身に対する危険度) A

壕の安全性に対する項目

<壕の危険度> ※赤表示箇所が危険壕

① 物的危険度(壕の上部に対する危険度)

壕の崩落・落盤の可能性について、現地踏査または聞き取り、推測に基づいて判断し、次の記号を記入する。

A	【既に危険な状況】: 現に壕上部において陥没、沈下、ひび割れ、壕内部においては落盤等が確認される状況にある。
B	【危険になる可能性が高い状況】: 壕の壁面にひび割れ、出水等が見られ、放置すれば将来陥没、落盤等危険になる可能性が高い。
C	【将来的に危険な状況になることが予測される】: 特別な異常は認められないが、同様な地質の壕の状況等から将来陥没、落盤等危険になると予想される。
D	【危険ではない】: 異常は認められない。現在のところ危険な水準になるとは考えられない。
E	【調査できない】: 壕内が確認できない等、何らかの理由で調査不能。

② 人的危険度(壕内の人身に対する危険度)

壕内で人身事故が発生する可能性について、現地踏査に基づいて判断し、次の記号を記入する。

A	【壕内に人が侵入でき危険】: 壕内に人が入ることができ、崩落又は、一酸化炭素の発生などにより危険な状況にある。
B	【壕内に人が侵入できるが安全】: 壕内に人が入ることができるが、危険性がない状況にある。
C	【壕内に人が侵入不可能】: 入口が封鎖・崩壊しており、物理的に壕に人が入ることができない。
D	【調査できない】: 壕内が確認できない等、何らかの理由で調査不能。